

2026年1月23日(金)

## 冬の星座を楽しむ

学校を出て家路に向かう頃、東の空にひときわ大きな黄色の星が見えます。これが木星で、そのすぐ上に仲良しの**ふたご座**が横向きになって輝いています。下にあるのが、少し黄色味を帯びた弟の**ポルックス**(明るさ1.1等)、上に白く見える兄の**カストル**(1.6等)です。

ここから右に目をやると、3つ並んだ星を囲むように鼓の形をした冬の星座の代表格、**オリオン座**が見つかります。鼓形の四隅にある赤い星が**ベテルギウス**(0.0等～1.3等の変光星)、その対角線上にあるのが白い星の**リケル**(0.1等)です。オリオン座から少し範囲を広げて見ると、左に**こいぬ座**の黄色の星**プロキオン**(0.4等)が、右下には**おおいぬ座**の青白い星**シリウス**(-1.5等)が見つかります。このベテルギウス、プロキオン、シリウスを線で繋ぐと、大きな三角形ができますが、これが『冬の大三角形』です。

続いて、天頂に目を向けると、黄色く色の明るい星**カペラ**が見つかります。**ぎょしゃ座**の星で明るさは0.1等。さらにオリオン座の右横には、**おうし座**のオレンジ色の星**アルデバラン**(0.9等)を見つけることができました。ここより高いところには、いくつかの星が集まってできたすばるがあります。

しかも、23日(金)の夜は、雪雲も去り、西に目をやると月齢4.5の三日月のすぐ左横に土星が寄添うように接近する「合」をいう現象を観測することができました。双眼鏡で土星を覗くと、はっきりとリング(環)も

確認できました。残念ながら、21日は雲が多くて、太陽の光が地球海や雲、陸地で反射して三日月の影になつて

いる部分をほんの  
り照らす「地球照  
(ダ・ヴィンチの輝き  
Da Vinci glow)」も観察できました。こうして興味深い宵を過ごしました。



23日18:30 東の夜空の星座

月と土星(スマホで撮影)